



第5位 サインクリエイター協会賞  
秋田県 (有)ビッグアート 煤賀 繁広氏



第4位 全国美術技能士会連合会会長賞  
岩手県 (有)ナイガイ 佐藤 優氏



第8位 優秀賞  
宮城県 (株)アベ美装  
坂東 大地氏



第7位 優秀賞  
青森県 (有)千葉看板  
千葉 みのり氏



第6位 優秀賞  
宮城県 (株)オオウチ工芸  
津軽 紬美氏

【総評】 \*審査委員長 田口朋美氏

この度、審査員を仰せつかりました県立学校で美術の教員をしております田口と申します。

始めに今回の審査を通して私自身新たな看板の魅力を教えていただけて大変勉強になりました。このような機会をいただけたことに感謝いたします。ありがとうございます。

今回は作品展の開催趣旨にある『明るく豊かな環境社会づくりの弊害となっている問題点を展覧作品に表現することにより、広く国民の方々に訴えて、明るく豊かな環境社会作りに貢献する』を審査基準として審査させていただきました。

出品作品の統一テーマである「自然環境(地球)」は、近年あらゆる場面で設定されているテーマです。もはや見慣れた、聞き慣れたものとなってしまっていて新しさは感じません。既知の内容をどのように扱い表現されるのか楽しみにして参りました。作品を拝見するとテーマの捉え方がやはり様々で普段中高生の作品を見ておりますが大人の視点だと感じ興味深く拝見いたしました。

さて、審査の評価についてですが先にも述べたように開催趣旨を基準としました。

- ①『問題点』をどのようにとらえ『発想(アイデア)』としたのか。
  - ②『広く国民の方々』をどうとらえ、どのように『表現(デザイン)』するのか。
  - ③ 作品を見た方にその『訴え』たことが伝わる(『効果(実用性)』がある)のか。
  - ④ 明るく豊かな環境社会作りに貢献できるような表現『技術力(仕上り)』であるのか。
- 各項目で点数をつけさせていただきました。

老若男女に受け入れられるデザインとは難しいものです。「きれい」を人は求めます。

しかし、テーマや審査項目を考えると単純に「きれい」だけで表現を終わらせられなく、いかに「広く国民の方々」に「訴える」のが難しかったと思います。そういった点で明確なメッセージ性があり、独自性の高い作品が高評価を得たと思います。

見ていく中で、批判的で風刺的な「見る側に考えさせる」踏み込んだ作品や、「惹きつけて近くでじっくりと見たいと思わせる」構成の工夫と技術力の高い作品に目を奪われました。

特に立体的に画面を構成することでポスターではできない、看板ならではの表現というものに惹きつけられました。立体的にすることで作者の意図がより強調されて伝えられる面白さ、目線の誘導、各自に問題提起させるための伝え方の工夫は見えていて楽しかったです。また、デザインはさることながら、ポスターとは違う技術の

次のページに続きます